

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
鹿部町	簡易水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続 ●
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

広域化や民間活用については、市町村間が離れ取水地の共有化等が難しいことや人口減少に伴い事業費も減少していることからメリットが少ないため、現行の経営体制で継続することとしている。
また、令和4年度より上水道事業から簡易水道事業へ移行となり、新たな財源確保の拡充が可能となったことにより、引き続き経営状況の安定化と経営健全化を進めてまいります。